長野県
手話言語条例制定１０周年記念イベント

手話で、みんなつながろう



長野県PRキャラクター
「アルクマ」
©長野県アルクマ

アルクマを
手話でどう
呼ぶ？



手話歌を
見て、聴いて、
楽しもう

おやつの
販売

記念講演

手話：つながる

2026年
12/6 日
13:00～16:00
長野県障がい者福祉センター
サンアップル　ホール
長野市下駒沢586

手話を知らない方も、
ぜひお越しください。

入場無料　申込不要

手話ってなに？

手や指、体の動きや表情などで視覚的に表現する「言語」です。
日本語とは異なる独自の語彙や文法があり、ろう者の大切なコミュニケーション手段として受け継がれてきました。

長野県手話言語条例とは？

この条例は、「手話は言語である」という認識のもと、手話の普及と、手話やろう者への理解を広げることを通じて、ろう者とろう者以外の人が、お互いの人格と個性を尊重しながら共に暮らすことのできる地域社会の実現を目指しています。

また、誰もが手話に親しみ、手話を使いやすい環境を広げていくため、手話を学ぶ機会の確保や手話による情報発信、手話通訳者等の養成・派遣などの取組を進めています。

音声コードUni-Voice

当日のプログラムは裏面へ

当日のプログラム　手話通訳・要約筆記・ヒアリングループつき

※プログラムの内容は予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

第1部　開会　13:00～13:40

記念式典

・オープニングアクト
長野県長野高等学校合唱班による手話歌
（信濃の国・麦の唄・花は咲く）

・開会の挨拶

・条例制定10年の歩みの振り返り



手話歌

**長野県
長野高等学校
合唱班**

県内外のコンクールで活躍。夏に３年生からバトンを引き継いだ１・２年生は「第68回長野県合唱コンクール」で金賞、「第79回中部合唱コンクール」で銀賞を受賞。今回は手話を交えた歌を披露する。歌声と手話が重なって生まれる表現にも注目。

第2部　13:55～15:00

記念講演

演題
「手話言語条例のこれまでとこれから」

講師：久松（ひさまつ） 三二（みつじ） 氏
（一般財団法人全日本ろうあ連盟参与
・アドバイザー（元事務局長））



講師

久松 三二 氏

全日本ろうあ連盟の事務局長などを歴任し、長年にわたり、手話言語法の制定運動や全国の手話言語条例・手話施策の推進に携わる。

第3部　15:10～16:00　閉会

記念イベント

・アルクマ手話表現企画

・トークセッション
「若い世代が語る、手話の今とこれから」
立場の異なる４人の若者が登壇。
それぞれの立場から、手話と関わる中で日頃感じていることや、「これからこうなってほしい」と思う社会について語ります。



アルクマの手話表現企画

**長野県PRキャラクター
「アルクマ」©長野県アルクマ**

アルクマを、手話ではどう表す？
３つの候補となる手話表現を実演で紹介。アルクマと一緒に、お気に入りの表現を選ぼう！！

安心してご参加いただけます

- 車いす使用者用の駐車場があります。
- 出入口や施設内に段差なく会場へ移動できます。
- 車いす利用者用の座席があります。
- バリアフリートイレがあります。
- 会場には手話通訳者がいます。
- 受付で筆談で対応ができます。
- イベントの途中で自由に入退室ができます。

販　売　12:30～14:00

障がい福祉施設などによる
お菓子・雑貨などの販売





※写真はイメージです。

アクセス



会場駐車場に限りがあります。満車の場合は、誘導員の案内に従い、隣接する長野県総合リハビリテーションセンターの指定駐車場をご利用ください。

主催：長野県　　共催：社会福祉法人 長野県聴覚障害者協会

お問合せ　長野県健康福祉部障がい者支援課在宅支援係　TEL　026-235-7104　FAX　026-234-2369